

福祉施設の児童に 幸せに生きるコツ

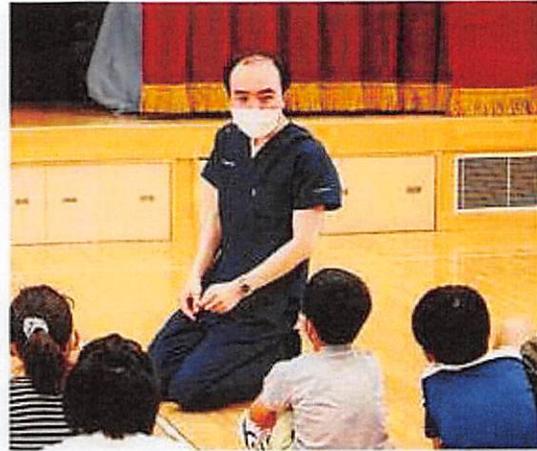
日進で救急医が講演

日赤愛知医療センター名古屋第二病院（昭和区、八事日赤）の救急科医長の福田徹さん（四〇）が十二日、日進市の児童福祉施設「中日青葉学園」で、子どもたちに「幸せに生きるコツ」のテーマで講演した。

福田さんは救急医の立場から各地で子どもに向けて好きなことの見つけ方などを話している。今回は小学生二十人が聞き入った。

福田さんは、小学生から

児童の質問に答える福田さん＝日進市岩崎町の中日青葉学園で



夢だった医者になり、患者の治療の様子を毎日独自に記録してきたという。五年ほどたつて記録を見直し、「治療の難易度などに関係なく、喜んでもらえたことが印象に残っていた」と気が

づいた経験を話した。

児童たちには、「毎日、寝る前に一日で楽しかったことを思い出してメモしてほしい。何かしたい自分の目的地が分かるはず。そうすれば勉強や練習といった道のりも頑張れる」とエール。女子児童（九）は「今日から寝る前に毎日書き始めます。楽しいことでもいいになったらどうしよう」と笑顔で話した。